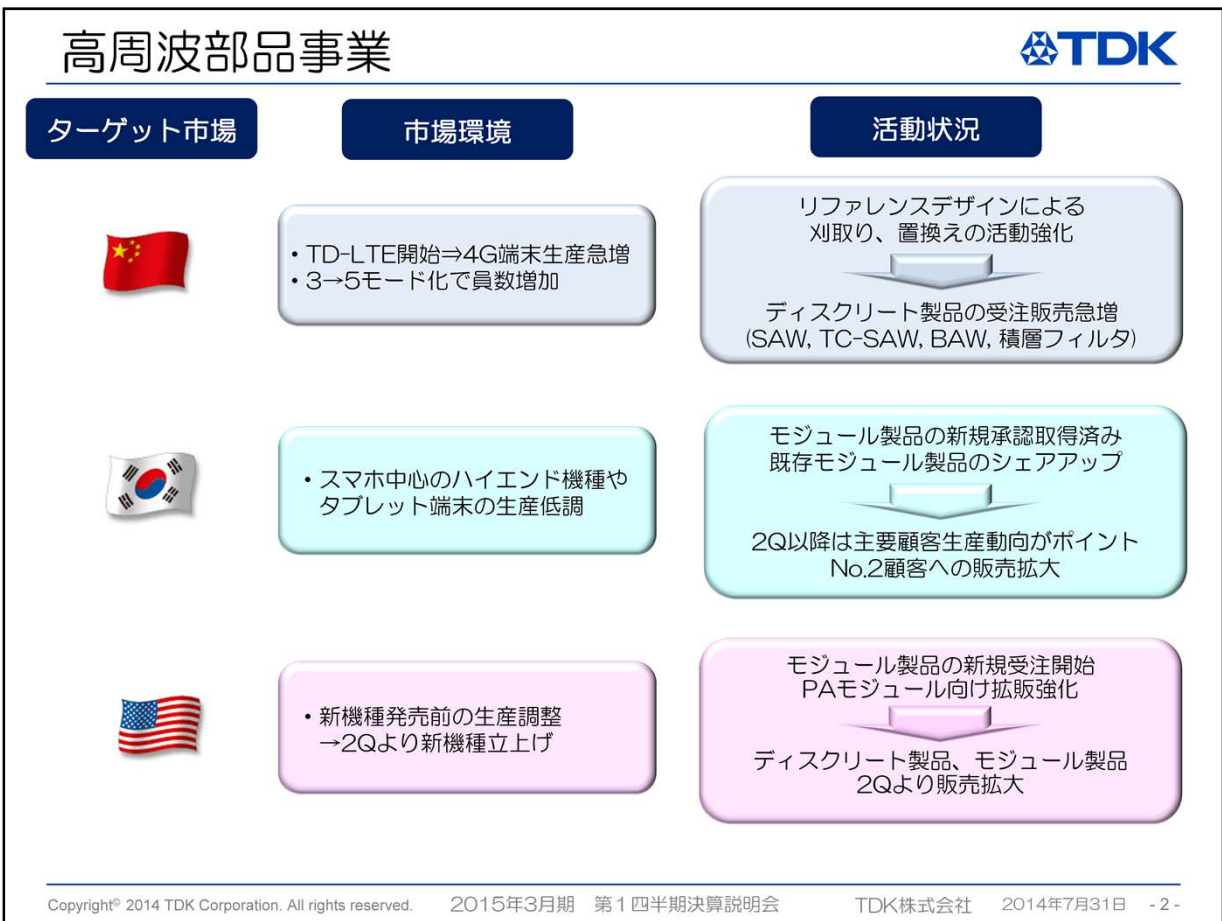


高周波部品事業について

専務執行役員
植村 博之

高周波事業の現状についてご報告いたします。



Copyright© 2014 TDK Corporation. All rights reserved. 2015年3月期 第1四半期決算説明会 TDK株式会社 2014年7月31日 - 2 -

ご存じのように、高周波部品の関連市場は、中国、韓国、米国の三つが大きな市場になっております。市場環境につきましては、中国は、ご存じのようにTD-LTEの4G化が進んでおり、端末の生産が増えています。3モードから5モードの機種が増えると、員数増加がさらに見込まれるというような状況にあります。そのお陰で、当社が今までやってきましたICメーカー様のリファレンスデザインにおいても徐々に成果が出てまいりまして、ディスクリート製品を主体に販売が伸びているという状況にあります。特にSAWフィルタ、BAWフィルタや積層のフィルタが想定以上に注文をいただいているという状況にあります。

次に韓国につきましては、モジュール製品について何点か承認を得まして注文に結びついております。残念ながらタブレットのほうは、若干計画に届いておらず、影響を受けている状況にあります。ここもいくつかモジュールがあるんですけども、今後新規のモデルも立ち上がる中で、新規の注文を見込んでおります。資料に書いてありますNo.2のお客様のほうも、高シェアにより、多くの注文をいただいております比較的順調に進んでおります。一般的には韓国系のメーカー様の若干下振れのお話が出ておりますが、残念ながら当社は、前期までモジュールについてはシェアが低かったものですから、そういった意味ではそちらのほうの影響は少ないと見ております。

最後に、北米のお客様のほうですけれども、これはご存じのように2Q後半から生産が立ち上がってくると考えております。新機種発売前の生産調整は若干ありましたけれども、今後ですね、PAメーカー様向けへの拡販も強化しておりますので、ディスクリート製品、モジュール製品の注文が2Qの後半から増えてくると見込んでおります。

事業戦略

- ◆ ICメーカーへの活動強化し、リファレンスシェア拡大
- ◆ 競争力あるディスクリート製品群を更に強化し、市場シェア拡大
- ◆ 小型パッケージ製品の開発、投入により、モジュールの市場シェア拡大
- ◆ 生産性改善の継続

事業の戦略は、以前からお話しておりますように、一つはICメーカー様への活動を強化し、リファレンスデザインでのシェア拡大を図っていく方針は変わっておりません。ICメーカー様とのコラボレーションを強化して、さらなる成果に結びつけるかということについては引き続き検討しております。次に、競争力あるディスクリート製品をさらに強化して市場シェアを拡大していきたいと考えております。また、新製品において小型のパッケージ製品の開発・投入によって、モジュールでの市場シェアの確保、拡大も同時に図っていきたいと考えております。あとは、生産性改善も足元で順調に進んできておりますので、さらに成果に結び付けていきたいと考えております。以上、簡単ですが、ご報告いたします。

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/1q_1.htm